

平成13年10月15日

# 平成11年度 医療費マップ

( 国民健康保険 編 )

( 老人保健医療 編 )

厚生労働省保険局調査課

## 平成11年度 医療費マップについて

### 1 医療費マップの趣旨

国保医療費について、各県・市町村において医療費水準の実態についての認識を深めると同時に、被保険者の年齢構成以外の要因での地域格差を算定し、各市町村における医療費適正化に向けての具体的指標を示すことを目的としている。医療費適正化については、特に伸びの高い老人医療費の適正化が必要との観点から、本年より老人医療費におけるマップを作成することとした。なお、国民健康保険医療費マップは昭和61年度から毎年度公表しており、今回で14回目である。

### 2 実績医療費（国民健康保険）

平成11年度の国保被保険者1人当たり医療費の実績値（全国平均369千円）を都道府県ごとにみると、高い都道府県は山口県（495千円）、北海道（490千円）、高知県（481千円）などであり、低い都道府県は千葉県（279千円）、沖縄県（280千円）、埼玉県（287千円）などである。

### 3 地域差指数（国民健康保険）

年齢構成以外の要因による医療費の高低の尺度である地域差指数（各市町村の実績の給付費及び老人保健医療費拠出金の合計額の基準給付費に対する比率。退職者を除く。）を都道府県ごとにみると、高い都道府県は北海道（1.270）、福岡県（1.244）、徳島県（1.221）などであり、低い都道府県は千葉県（0.832）、長野県（0.838）、茨城県（0.868）などである。

入院・入院外別に地域差指数をみると、最も高い都道府県は、入院では北海道（1.465）、入院外では大阪府（1.197）であり、最も低い都道府県は、入院では千葉県（0.762）、入院外では沖縄県（0.835）である。

なお、市町村別にみた地域差指数の単純平均は0.966、標準偏差は0.151となっている。

### 4 老人医療費

平成11年度の老人一人当たり医療費の実績値（全国平均832千円）を都道府県ごとにみると、高い都道府県は、福岡県（1,078千円）、北海道（1,066千円）、長崎県（986千円）などであり、低い都道府県は、長野県（643千円）、山形県（666千円）、山梨県（677千円）などである。